

氏名	保科寧子	部署	社会福祉子ども学科	職名	准教授
研究分野	社会福祉学 (ボランティア 地域福祉 高齢者福祉)				
学位	博士 (学術)				
学歴	1994年立教大学 文学部 キリスト教学科、07年筑波大学大学院 修士課程教育研究科カウンセリング専攻、11年筑波大学大学院 人間総合科学研究科 ヒューマン・ケア科学専攻				
経歴	2008年埼玉県立大学 保健医療福祉学部 助教、12年4月埼玉県立大学 保健医療福祉学部 講師 18年4月埼玉県立大学 保健医療福祉学部 准教授				
所属学会 (役職)	日本社会福祉学会、日本地域福祉学会、日本リハビリテーション連携科学学会、日本高齢者ケアリング学研究会 (理事)、日本ソーシャルワーク学会				

【2024年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	クエスチョン・バンク 社会福祉士 国家試験問題解説2025	共著	あり	メディックメディア, P705,	医療情報科学研究所編 第36回「相談援助の理論と方法」問題解説担当	2024.4
2	社会福祉士国家試験のためのレビューブック2025	共著		メディックメディア, P869,	医療情報科学研究所編 第12章監修担当 (P520-552)	2024.4
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名
1	外国人支援と司法書士	単著	なし		市民と法, 150, 53-57	保科寧子
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者 (発表者は○印)	発表等年月
1	該当なし					
(4) その他						
	名称	単・共		発表場所等	発表者 (発表者は○印)	発表等年月
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称			研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	該当なし					
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)		
1	ソーシャルワーク概論Ⅰ	○	15	ソーシャルワークにおける専門職としての基本的な考え方や職業倫理について、Webclassを活用しながら主体的に取り組めるような課題を設定し学習を進めた。		
2	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	○	15	インテーク、アセスメント、介入などについて個別援助技術をさまざまな事例とWebclassを活用しつつ実践的に学習した。		
3	ソーシャルワーク特論 (大学院)	○	10	ソーシャルワークの実践研究の概念を示し、実践の中から研究課題を見出す過程を体験的に学ぶ機会を作った。ソーシャルワークに関する研究を紹介、ソーシャルワークに関する文献のクリテークの助言などを担当した。		
4	福祉社会特講Ⅳ (国際社会福祉論)		1	多文化共生の視点から日本に暮らす外国人の事例についてどのような支援が必要であるかをアセスメントする事例検討を実施した。		

(2) 演習						
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)		
1	社会参加活動	○	15	社会参加活動について紹介し、実際に活動を体験できるように、活動時の諸注意、活動先の紹介などを行った。最後に社会参加活動の振り返りを行い、その意味を考える場を設定した。		
2	ソーシャルワーク演習Ⅲ	○	15	ソーシャルワークにおけるグループワークの手法を指導した。ロールプレイにより実際にグループワークを行うワーカーとしての体験を経て実践的な学びとなる形式としている。		
3	社会福祉専門演習Ⅰ	○	15	人間理解を深める内容で各学生が関心のあるテーマを取り上げて文献調査をし結果を発表、さらにグループでのディスカッションを行って学ぶ機会としている。合わせて心理療法の一つである交流分析(エゴグラム・ゲーム理論など)を紹介し、対人援助への理解を深める。		
4	社会福祉専門演習Ⅱ	○	15	前半は社会福祉専門演習Ⅱの内容を発展させ、交流分析における人生脚本の考え方を紹介する。後半は、研究についての基本的な枠組みを学び、学生がそれぞれ関心のあるテーマから人の思考やコミュニケーションについて文献調査を行った結果を発表する。		
5	社会福祉専門演習Ⅲ	○	15	学生それぞれが自身の関心のあるテーマについて、文献検索、先行研究レビュー、発表を行い、それをもとにグループディスカッションを行うことができるように指導を行った。すでにある研究知見を活用し、今後の自身の活動に役立てることができることを目指している。		
6	社会福祉専門演習Ⅳ	○	15	社会福祉専門演習Ⅲに同じ。		
7	卒業研究		15	学生の関心に従って先行研究の収集、調査・分析方法を提示して研究方法をとともに検討し、卒業論文の執筆を指導・支援した。		
(3) 実習						
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)		
1	ソーシャルワーク実習Ⅱ		2024.4-2024.7	社会福祉士受験資格取得のためのソーシャルワークの過程を学ぶことを目的とした実習である。実習施設への巡回訪問を行い、実習学生が学びを得られる実習となるように状況を確認し、助言や実習施設との調整を行っている。		
2	ソーシャルワーク実習Ⅲ		2024.7-2024.11	社会福祉士受験資格取得のためのソーシャルワークの過程を学ぶことを目的とした実習である。学びの深まるように個人面談だけでなくグループによる実習振り返りや電話・メールでの指導も実施している。		
3	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ		15	円滑にソーシャルワーク実習Ⅱ・Ⅲに取り組むことができるよう、いまままでに終了した実習の振り返りを行い、次の実習へ向けて実習課題の作成とその成果発表を行った。また実習の総括や実習課題の作成のために個別面談も実施した。		
4	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ		15	ソーシャルワーク実習Ⅱの体験を基にグループや個人で振り返りを行い、実習生の報告書作成を指導した。また、実習報告会での発表資料の作成も支援した。実習報告会を運営し、学生の実習での学びが深まり今後に生かすことができるように助言を行っている。		
5	IPW実習		2024.4-2024.10	実習施設にてIPW実習の指導を行った。学生間で主体的に活動できるようにリーダーや役割分担を行うなどの助言を行いチーム活動を支援した。実習では学生のチーム活動を支援し、実践的に多職種連携を理解できるように指導を行った。		
(4) 論文指導						
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数			
1	卒業論文	2024.4~2025.3	主指導	5名	副指導	名
2	修士論文	2024.4~2025.3	主指導 (指導教員)	1名	副指導 (指導補助教員)	名

(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	目白大学 非常勤講師	2024.4-2024.9	「社会福祉・教育」科目を担当した。	
2	獨協大学 非常勤講師	2024.8	「介護ボランティアの理論と実践」科目を担当した。	
3	東都大学 非常勤講師	2024.5	「ボランティア活動論」科目の一部を担当した。	
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	埼玉未来大学特定講座「心をつなぐコミュニケーション」	公益財団法人いきいき埼玉	人とよく話し合って結論を出すコンセンサス法を紹介し、体験的に理解するための演習を実施した。	2024.5
2	福祉推進員研修	越谷市社会福祉協議会	地域福祉推進のための地域活動の基礎知識の紹介と地域課題を検討するためのグループワークを担当した。	2024.6 2024.11
3	社会福祉士実習指導者講習会	埼玉県立大学	社会福祉士実習における実習指導者養成講習のなかのスーパービジョン演習を担当した。	2024.7
4	脳卒中リハビリテーション看護認定看護師教育課程（地域福祉）	国立障害者リハビリテーションセンター学院	地域福祉領域（脳卒中患者の利用できる社会資源や介護保険をはじめとした制度）の講義と支援の演習を担当した。	2024.11
5	大学模擬授業「良いコミュニケーションで仲間づくりをしよう」	群馬県立渋川女子高等学校	人と良いコミュニケーションをとるためには自分を理解しコントロールすることが有用であること、また価値観は人によって異なることを体験的に学ぶ演習を実施した。	2024.12
6	松伏町ボランティア研修会	松伏町社会福祉協議会	ボランティアの定義、役割を確認する講義とともに人と連携して支えあうために自己覚知と価値観の多様性を学ぶ演習を実施した。	2025.3
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期	
1	埼玉県春日部市地域包括支援センター運営等協議会	会長	2012-現在	
2	埼玉県春日部市都市再生協議会	委員	2016.7-現在	
3	社会福祉法人越谷市社会福祉協議会	理事	2020.5-現在	
4	社会福祉法人埼玉県共同募金会越谷市支会	理事	2020.5-現在	
5	社会福祉法人越谷市社会福祉協議会 愛の詩基金事業「社会福祉活動団体等支援事業」助成金審査委員会	委員	2020.5-現在	
6	埼玉県吉川市介護福祉推進協議会	会長	2022.1-現在	
7	埼玉県危機管理防災部 埼玉県防災会議	委員	2022.4-現在	
8	埼玉県草加市地域福祉連絡協議会	副会長	2022.5-現在	
9	埼玉県吉川市地域福祉計画推進協議会	会長	2023.3-現在	
10	埼玉県福祉部福祉政策課 地域福祉推進委員会	委員	2023.1-現在	
11	埼玉県福祉部社会福祉課 埼玉県社会福祉法人認可等及び介護老人保健施設等審査委員会	委員	2023.8-現在	
12	埼玉県南埼玉郡宮代町 宮代町総合計画審議会	委員	2025.2-現在	
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容	年月	
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			

5. 学内運営			
	項目	内容	期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	大学院教務委員会	2024.4-現在
2	学科等における委員会等	社会福祉子ども学科社会福祉学専攻 2027カリ改定カリキュラム運営ワーキンググループ長（実習演習運営方法検討部会）	2024.4-2025.3
3	大学広報活動	高校生向け開放授業（ソーシャルワーク概論Ⅰ） 55歳以上対象開放授業（ソーシャルワーク概論Ⅰ/ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ） 高校訪問（大学模擬授業 群馬県立渋川女子高等学校） オープンキャンパス相談担当	2024.4-2025.3
4	学生支援	サークル顧問（IVUSA・Solutions）	2018.4-現在
5	全学的委員会及びセンター業務等	ダイバーシティ相談員（総合相談）	2021.4-現在
6	学科等における委員会等	3年生学年担当	2024.4-2025.3
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	該当なし		